

科目名	(D) コミュニケーション論演習 (2019年度以降入学者) 英語文化演習 (2018年度以前入学者)	担当者	板場 良久
開講期	通年	単位数	4単位
【概要】		【授業計画】	
<p>(1) 「英語文化研究」を履修しながら、研究論文の執筆を行います。</p> <p>(2) 必要に応じて教材開発などの検討および実際の制作なども行います。</p> <p>(3) 学位論文の執筆指導だけでなく、コミュニケーション研究関連の学会発表や学術論文の出版へ向けての指導も行います。</p> <p>(4) 開講曜日は土曜日を想定していますが、受講生との協議を通じて、フレキシブルに対応したいと考えています。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. 概略説明 (授業方針の確認、その他) 2. 研究分野の把握 1 3. 研究分野の把握 2 4. 研究分野の把握 3 5. 中間報告 1 6. 研究テーマと先行研究の検討 1 7. 研究テーマと先行研究の検討 2 8. 研究テーマと先行研究の検討 3 9. 中間報告 2 10. アウトラインの構築と検討 1 11. アウトラインの構築と検討 2 12. アウトラインの構築と検討 3 13. 中間報告 3 14. 今後の課題に関する検討 15. 要旨の構築と検討 1 16. 要旨の構築と検討 2 17. 要旨の構築と検討 3 18. 中間報告 4 19. 執筆指導 1 20. 執筆指導 2 21. 執筆指導 3 22. 中間報告 5 23. 草稿の検討 1 24. 草稿の検討 2 25. 草稿の検討 3 26. 草稿の検討 4 27. 最終報告、相互評価 28. まとめ 	
【到達目標】		【事前・事後学修の内容】	
コミュニケーション論に関する博士論文のテーマを決定し、執筆できるようにする。		研究者としての主体性を持って資料を読み、レジユメを用意するなど準備をしてから授業に参加し、授業で議論したことをいかに研究に反映させ得るのかも考えていく。	
【テキスト・参考文献】		【評価方法】	
使用しません。(状況に応じて文献紹介をします。)		毎回の発言：20%、中間報告：20%、学年末の論文：60%	